

コード	503020202
記入日	H24.6.8

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川 義男
担当者	立石 克巳

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	体育協会補助事業
----------	----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	503	施策名称	スポーツ・レクリエーションの充実	項コード	6
基本事業コード	50302	基本事業名称	生涯スポーツの振興とスポーツによる交流	目コード	1
事務事業コード	5030202	事務事業名称	競技スポーツの振興事業費	細目コード	991
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町体育協会会則		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	体育協会加盟団体数	(対象指標1)	22団体			
(対象2)	体育協会加盟人数	(対象指標2)	2,156人			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・スポーツの振興のために体育協会へ補助を行なった。 →加盟団体数 22団体	*****	*****	*****	補助金交付件数÷ 補助金申請件数	*****
		①	補助金交付件数	1件	100%	
		(達成率分析)	体育協会から補助金の交付申請があり、内容を審査して交付した。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・体育協会に補助金を交付することで、住民のスポーツ人口の増大を図り、競技力の向上及び、住民の健康増進を目指す。		*****	*****	*****	加盟団体数÷ 前年度加盟団体数	*****
		①	加盟団体数	22団体	100%	
		(達成率分析)	前年度と同じ加盟団体数であり、スポーツ団体の確保はできている。			
		②				
		(達成率分析)	2,250人を一般成人の目標人員と設定している。人口減、高齢化により競技スポーツ人口は減少傾向にあるが、目標数値からすると達成率は高い。			

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	5	5	4	1	1				
	②									
成果指標	① 団体	109	109	87	22	22				
	② 人数	11,542	11,448	9,292	2,250	2,156				
総事業費 C (A+B)	千円	51,828	51,828	41,828	10,000	10,000				
直接事業費 A	千円	34,328	34,328	27,828	6,500	6,500				
人件費 B	千円	17,500	17,500	14,000	3,500	3,500				
内訳	従事職員数	人	2.5	2.5	2.0	0.5	0.5			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	51,828	51,828	41,828	10,000	10,000				

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	時代の変化に関係なく、住民の健康づくり・体力づくりの推進は、町として支援していく必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	17単位協会は、活動助成のほか自主会費を徴収して、各種日ごとに協議会を開き会員数2,156名となっている。5地区協会は、地域振興の観点から地域スポーツ活動のための事業を主催している。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	健康づくりは自分のためにするものであり、スポーツも自分のためにする意識を高め、日常活動の中にスポーツを取り入れるよう努めることが、スポーツ人口増につながる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	17競技団体の内、15競技団体が県民体育大会に参加するなど、各団体において幅広く活動している。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる ● 代えられない	理由	各種スポーツ事業及び各競技団体の育成を兼ねて事務局があり、現在の費用及び業務量は適当である。

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	少子高齢化による競技スポーツ人口の減少が進み会員数が減少傾向にあるので、年齢や体力に応じた競技スポーツの整備が必要。
	今後、課題に向けた改善策	いつでも、だれとでも、どこでも楽しめる競技スポーツを推進し住民の健康づくりに役立つよう努める。

2次評価	少子高齢化により競技スポーツ人口の減少が進む中、体育協会の活動が町民の親睦・交流及び健康づくり、体力づくりのために役立つよう支援していく。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。